



2018年11月30日

各 位

会 社 名 C Y B E R D Y N E 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 海 嘉 之
(コード 7779 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 コ ー ポ レ ー ト 宇 賀 伸 二
部 門 責 任 者
(電 話 029-869-9981)

株主優待制度の新設に関するお知らせ

当社は、本日、株主優待制度の新設について決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1 背景

当社グループは、人や社会の課題を解決する革新的な製品の研究開発および社会実装に取り組んでおり、主要な事業の一つとして、身体機能の改善・補助・拡張・再生をすることができる世界初のサイボーグ型ロボット HAL®の開発、さらに病気や怪我などによって身体に障がいを持っている方々のためのHAL®を利用した新しいトレーニングプログラムであるHAL FIT®の展開を推進しています。

2 株主優待制度新設の目的

当社グループは、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)*」の一つである「すべての人に健康と福祉を」を踏まえ、病気や怪我により身体障がいを持っている方々が社会活動に参画し続けられるような社会を実現するための取り組みを推進しています。この度、この取り組みを一層拡充するものとして、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、株主様およびそのご家族の皆様の病気や怪我の身体的・精神的な負担を軽減することを目的として、HAL FIT®の株主優待制度の新設を決定いたしました。

3 株主優待制度の概要

(1) 対象となる株主様

毎年3月末の当社株主名簿に記載又は記録された10単元(1000株)以上を保有の株主様を対象といたします。

(2) 株主優待の内容

優待内容	10単元以上 20単元未満	HAL FIT 下肢タイプ 10回分 20%割引
	20単元以上 30単元未満	HAL FIT 下肢タイプ 10回分 35%割引
	30単元以上	HAL FIT 下肢タイプ 10回分 50%割引

(3) 利用可能者

対象の株主様又はその配偶者並びにその一親等までの親族

(4) 利用可能期間

毎年6月上旬に優待券を配布後、翌年5月末まで

(5) 利用可能施設

- ・サイバーダイnstudio/HAL FIT (茨城県つくば市)
- ・浦安ロボケアセンター (千葉県浦安市) 2018年12月オープン予定
- ・湘南ロボケアセンター (神奈川県藤沢市)
- ・鈴鹿ロボケアセンター (三重県鈴鹿市)
- ・大阪ロボケアセンター (大阪府堺市)
- ・大分ロボケアセンター (大分県別府市)
- ・その他、利用可能期間にオープンしたロボケアセンター

(6) 開始時期

2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された10単元(1000株)以上を保有の株主様を対象に開始いたします。

4 HAL FITとは

HAL FITとは、装着者の意思に従った動作を実現する「HAL」を使用した新しい形のトレーニングプログラムです。専門スタッフが一人一人に合ったメニューを組み、最先端のテクノロジーを活用しながら、歩行運動や立ち座り運動などを実施します。

HALFIT®のトレーニング内容（例）



平行棒



オールインワン



手すり把持スクワット



膝の曲げ伸ばし



トレッドミル



膝の曲げ伸ばし

◆ HALFIT適用例

- ・ 脊髄障がいなどで不全麻痺の方
- ・ 脳卒中の後遺症で片麻痺の方（筋緊張の低い方）
- ・ 疾患や加齢に伴い足腰の筋力、コントロールが低下している方（サルコペニア、未病改善）
- ・ 神経筋疾患などにより四肢に力が入らない方

※ 個人の状態によりご利用いただけない場合もございます。

＊「持続可能な開発目標 (SDGs)」

2015年9月に行われた「国連持続可能な開発サミット」において、人間、地球および繁栄のための行動計画として17の目標と169のターゲットからなる、「持続可能な開発目標 (SDGs)」が宣言されました。本目標は、政府のみならず、産業界や市民社会など、地球上の全ての人を対象とした共通目標であり、当社グループも社会の一員として、関連するSDGsの達成に寄与していきます。

当社が解決を目指す社会課題の一つが、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の一つである「すべての人に健康と福祉を」であり、特に、怪我や病気などにより身体障がいを持っている方々が社会活動に参画し続けられるような社会を実現するための取り組みを創設以来行ってきました。当社はこの取り組みをさらに推進することで、一人でも多くの怪我や病気などにより身体障がいを持っている方々の身体機能の維持・改善・再生を実現していきます。

また当制度に限らず、サイバニックデバイス・サイバニックインターフェース及びそれを用いたサービスをより多くの方々に利用いただけるようにするべく、今後も様々な取り組みを行っていきます。

当社の持続可能な事業推進を行うための取組み



以上